

2018年5月11日

報道機関 各位

QB キャピタル合同会社
国立大学法人 熊本大学

～QB 第一号投資事業有限責任組合（QB 第一号ファンド）～ 「熊本大学による圧電センサ事業化プロジェクト」へのプレ投資について

QB パートナース有限責任事業組合を無限責任組合員とする、QB 第一号投資事業有限責任組合（以下、「QB 第一号ファンド」）は、2018年5月7日付で、「熊本大学による圧電センサ事業化プロジェクト」（以下、「本プロジェクト」）に対してプレ投資を行いましたので、お知らせします。

QB 第一号ファンドを運営するQB キャピタル合同会社（以下、「QB キャピタル」）は、2017年9月1日付で「研究成果の事業可能性評価を行う事業に係る覚書」を熊本大学と締結し、同大学発の研究成果を活用した事業化プロジェクトの支援を行っています。

本プロジェクトは、熊本大学大学院先端科学研究部の小林牧子准教授、田邊将之助教、中妻啓助教らが研究するスプレー式ゾルゲル圧電センサ作製技術を活用し、様々な圧電センサの開発を目指すものです。

今般、本プロジェクトに対しQB 第一号ファンドとして2件目となる匿名組合を活用したプレ投資（出資）を行いました。

本出資は、

- * 今後のセンサ市場はIoTの進展などを背景に様々な分野で拡大が想定されること
- * 本圧電センサは、可屈曲性を生かしたフレキシブルデバイスへの展開、耐熱性を生かした高温下センシングへの展開など、様々な用途への展開可能性があること

といった点を評価し、投資実行しました。

なお、熊本大学では、2018年4月に、大学発ベンチャー等に関する認定制度を制定し、ベンチャー支援に力を入れており、本プロジェクトもその支援の一環として取り組むものです。

本プロジェクトの概要

プロジェクト名： 熊本大学による圧電センサ事業化プロジェクト
技術研究者： 熊本大学大学院先端科学研究部 小林牧子准教授、田邊将之助教、中妻啓助教
事業内容： 曲面に塗布可能なスプレー式ゾルゲル圧電センサ作製技術の事業化

QB 第一号ファンドについて

QB 第一号ファンドは、九州地域の大学を中心とした大学の研究シーズ及びシード・アーリー段階の大学発ベンチャーを投資対象とし、大学発ベンチャーの成長を支援するとともに、大学の研究成果の事業化による大学発ベンチャーの創出に取り組み、成長段階まで一気通貫でハンズオン支援することで、大学の研究成果の社会還元を促進し、地域における新産業の創出を目指す、九州地域で初の産学連携ファンドです。

プレ投資について

プレ投資とは、大学発ベンチャーの課題の一つといわれる研究費と民間投資の間にある資金的ギャップを埋め、地域において有望な大学発ベンチャーの創出を目指す QB 第一号ファンド独自の大学発ベンチャーインキュベーションプログラムで、会社設立以前の事業化プロジェクトに100～500万円/件の投資をします。その資金を元に、プロジェクト期間中（半年～1年）に、POC(Proof of Concept)や経営人材の探索を行い、大学発ベンチャーの創出に繋がります。

【お問い合わせ先】

QB キャピタル合同会社 （担当：長浜）

住所：〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜 2 丁目 1-22 SRP センタービル 706

電話：092-832-6200

URL：<http://qbc.co.jp>

国立大学法人熊本大学

熊本創生推進機構 イノベーション推進部門 （担当：松浦）

住所：〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪二丁目 39 番 1 号

電話：096-342-3145

URL：https://www.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu_sangakurenkei